

# NEWS LETTER

株式会社人財アジア 定期ニュースレター

vol.39

2025年05月

岡村の最近の注目ニュース  ビジネス予備校近況リポート  B-EAT会活動報告  What's up?

## トランプ関税の嵐が 世界中を吹き荒れている。

2025/05



他国と協働して追りくる二番手中国を叩く構造変革が狙いか、  
単なる MAGA (Make America Great Again) という米国一国中心主義の発想か、  
打ち出される手を見る度に、あれこれ真意を考えてしまう。

“周りは深読みしたがるが、読みすぎないほうがよい” という友人の助言を思い出す。

叩くべきだから叩く、不公平だから正す、追い出すべきだから追い出す・・・個別ディールに一つ一つ明快な目的がついているから、当事者は額面通りの考え方で取り組んでいるのだろう。

それならばなぜ、周りは疑心暗鬼にかられるのか？

すべての施策や言動を足し合わせると、全体の整合性がどうも合わなくなるからだろう。そもそも一連の施策のゴールであるはずの “Great” の意味が曖昧過ぎる。実現したいのは、米国の圧倒的経済力なのか、世界からの称賛なのか、やや惰性化していた米国霸権の延命なのか・・・MAGAのフレーズに単純化された目的は、情緒的で具体性に欠ける。個別ディールが寄せ集めになって一貫性がないのは必然の結果だ。

部分最適全体不存在が生み出す混沌とした世界。

こういう局面で、私は常にワーストを考え、物事を注視する目線（指針）を定める。真実に反するかも知れないが、Make “Trump” Great Again (MTGA) が統治指針だと考えれば、一見理不尽な事象も多少は解釈しやすくなる。米国の強みの源である大学まで叩いてしまうのは、経済的に大成功してもエスタブリッシュメントに入れないなら立ちと抵抗心の表れと考えれば理解できる。意図的にすら見える市場ボラティリティの増大も納得がいく。MTGAの下、まだしばらくは混乱が続きそうだと身構える。

卒業生の皆さんには、混沌した局面でこそ、自分の人生において何を優先し、いかなる指針で現状と向き合うか再度しっかり考えてほしい。まずは、考えられる展開シナリオをとことん書き出してみよう。人生においても、運用においても、“予想外はあっても想定外はなくせ（運用担当今野講師）”を特に意識すべき時だ。

EATで学んだように、現時点で米国の地力は強い。市場を壊してから復活させるシナリオが筋書き通りに運ぶ可能性が相応にある。一方で、不自然な市場の歪曲は突発的なイベントを招きやすいから注意を要する。もし更なる緊急事態が発生・継続したら、混乱は経済を越えて政治社会の枠組み全般に影響を与えていくことだろう。危機に直面した時には、世の中の常識や鉄則に惑わされず、自らの頭であれこれ考えることが肝要だ。その際に、「“自分の目的（価値観）”から逆算し“優先順位”をつける」ことが、もっとも効果的なリスク管理になる。

世界のリーダー陣にて顕在化する too much な自己主張を前に、相対的に控えめな日本人の良さが再び脚光を浴びるが、輝くのはいつも危機時のみ。いまの日本に必要なのは、多少わがままであってもやりたいことをやる、口に出す訓練であろう。強いコミットメントがあれば物事を成し遂げられる。ただし、大義なき私欲は自身も周りも不幸にすることはいまの世界を見ていればわかる。人生における成功の秘訣は、私欲を燃料にしながらも、大義というカギを掛けることで野放しにしない目的・目標設定にあるのではないか。

本日寄稿くださった松浦氏は、抜群のバランス感覚と柔軟性を持ちながら、御自身の信念に忠実な強い意思をお持ちの方だ。人財アジアの人財育成にかける思いを言い当ててください、恥ずかしくも嬉しい。私がリスペクトする、日本の未来をともに創る大事な仲間の一人だ。

ある企業グループで人の育成をはじめて担当したのは 15 年前になる。ぼう大な内定者課題を整理して、入社前の半年間に「挨拶」「感謝」「掃除」だけ徹底してそこからの気づきを自分の言葉で焼きつける、それだけの課題が 15 年間続いている。20 歳から 65 歳まで 45 年ほど働くとすると、もう社員の 1/3 はその課題を経験したことになるはず。それでも行動の総体である企业文化はいっこうに変わらない。新人も 1 年たてば「挨拶」も「感謝」も「掃除」も形にしない、世俗な文化にのみこまれていく。

なぜだろうと考えたとき、他人から言われた課題は自分の目標になっていない、腹落ちしていないからだと感じざるをえない。世の中にイチロー語録なる、262 もの短いメッセージがある。本も出ているしネットでも簡単に調べられる。短い言葉のなかに、イチローらしいストイックな思いがあふれる。

「小さなことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただ一つの道だと思っています。まず手の届く目標を立て、ひとつひとつクリアしていくが、最初は手が届かないと思っていた目標にも、やがて手が届くようになる。自分のできることをとことんやってきたという意識があるかないか。それを実践してきた自分がいること、そこに誇りを持つべき。いろいろと試すことはムダではありません。ムダなことを考えて、ムダなことをしないと伸びません。しっかりと準備もしていないのに、目標を語る資格はない。」

というものだ。自分が思い浮かべられるイメージに自分で構成していくが、自分が腹落ちして取組むことができそうなメッセージにかわっていく。

## 「イチロー語録」

株式会社 J-POWER ビジネスサービス

取締役執行役員

企画部長

松浦 英行 氏



人財アジアは「次世代人財の成長に貢献する」という理念をかかげている。成長する人財本人にとっても、それを導く人財アジアにとっても、途方もない目標。その実現には、講師や受講生のひとりひとりが、自分で目標を定めひとつひとつの取り組み・努力を積み上げた先に、イチローの言う「とんでもないところ」が待っているのだろう。

私たちは終わりのない駆け引きを走り続けている。私たちの世代の区間はもうすぐ中継点にきて、次世代へよりよい位置どりでタスキを渡そうとしている。人財アジアというビジネス予備校で、歴史大学・武蔵野大学ウェルビーイング学部などのアカデミアで、そして私たち企業の研修の場で、目標を立てできることをとことん積み上げて、とんでもないところに向かうタスキリレーがはじまっている。次世代のみなさんが、さらにそのタスキをどんな高みにつないでいくのか、楽しみにしたい。楽しめるように私たちも走り続けたい。

B-EAT

ビジネス予備校の  
OB/OG による地域を超えた繋がり

本年度の各クラス代表幹事による幹事就任および所信表明



B-EAT 東京 代表幹事

金子 智則 さん

EAT ビジネス予備校 東京クラス 10 期生



B-EAT 福岡 代表幹事

松枝 美華 さん

EAT ビジネス予備校 福岡クラス 8 期生

このたび、東京 10 期生の代表幹事を拝命しました金子と申します。EAT での一年は、洞察力と「問い合わせる力」を徹底的に鍛える日々でした。実務においても相手の本質を見抜く視点を大切にしながら、人脈形成に活かしていきたいと思います。現在、幹事グループでは、アジアをテーマにしたワークショップと懇親会を 11 月頃に企画中です。ぜひご関心をお寄せいただければ幸いです。

弊社は採用や評価制度の支援を行っており、市場の変化を見据え海外にも目を向け始めた中で人財アジアに出会いました。

実際には How to ではなく、より本質的な視点に触れ、大きな収穫となりました。中でも、①広い視野と超長期的な思考、②物事を丁寧に観察し深く考え抜く姿勢、③声なき声に耳を傾けることは、今後の行動指針です。8 期福岡幹事として、一生繋がり続けられる場づくりをしていきます。

 株式会社人財アジア

〒100-0005 東京都 千代田区丸の内 1-8-3 丸の内トラストタワー本館 20 階

[TEL] 03-6300-6460 [Mail] info@eat-star.asia

特別寄稿および What's up? に掲載して下さる方を募集しています。ご希望の方は事務局までお問い合わせのほど、お願い致します。